



家庭でできる7つの節電ポイント

- ①こまめにスイッチオフ
- ②使用していない場合にも、電力が消費される待機電力を削減
- ③エアコンの設定温度、風向きを調節して節電
- ④冷蔵庫の開閉は少なく、ものを詰めすぎない
- ⑤照明の明るさや点灯時間を調節して節電
- ⑥テレビの主電源をオフ。明るさを調節して節電
- ⑦生活スタイルを見直して節電



節電を習慣に

これから、電力消費が一番多い季節になります。安定した電力供給につなげるためにも、私たちができる節電を家庭や職場等で取り組みましょう。

また、節電は CO2 削減に、地球温暖化防止に貢献するものです。一人ひとりが意識し、少しずつでよいので無理なく「節電」への取り組みを習慣にしていきましょう。

熱中症にご注意ください

エアコンの控えすぎによって熱中症にならないようにご注意ください。

涼しい衣服を着たり、扇風機を使用したり、こまめな水分補給をした上で、特に高齢者や小さな子どもは、熱中症になりやすいため、我慢せず、エアコンを使いましょう。

7月7日は、 「クールアース・デー」

部屋の灯りを消して七夕の夜空を眺めながら、日ごころ何気なく使っている照明や電気についてもう一度考えるきっかけをつくってみませんか。

クールアース・デーとは、G8洞爺湖サミットが2008年7月7日の七夕の日に開催されたことをきっかけに、地球環境の大切さを国民全体で再確認し、年に一度家庭や職場での取組を推進するための日として設置したものです。